

ようこそ 教育長室へ

教育長 高木 秀人

前回に引き続き、12月定例市議会のご報告をします。

1. 代表質問での主な質疑(続き)

○ 「市川クオリティ・ロゴス」への期待【石原よしのり議員(新しい流れ)】

- (議員)市川市教育振興大綱具体化パッケージには「市川クオリティ・ロゴス」という表現が掲げられている。「ロゴス」という馴染みの薄い言葉が何を指し、市川の教育に何を期待しているのか。
- (市長)市川市は、全国の平均値から見て決して悪くないが、言葉を読み取る力、文章を作る力、行間を感じ取る感性の豊かさを是非、市川市で義務教育を受ける子供たちに作り上げてもらいたいという思いがあり、「ロゴス」という言葉を使った。

○ 不登校生徒の夜間学級利用【とくたけ純平(れいわ・無所属・共生の会)】

- (議員)不登校生徒の中には、日中の活動や騒々しい環境、同世代と一緒にが難しく、夜間学級であれば通えるケースもあると考える。夜間学級を現役の不登校中学生が利用できないか。
- (学校教育部長)教育委員会としては、校内教育支援センターや「サポートルームふれんど市川」の活用をより一層進めていくとともに、その活用状況を踏まえて、中学生の夜間学級への受入れについて適切に対応していく。

2. 一般質問での主な質疑

○ 学校給食無償化の継続【つかこしたかのり議員(創生市川・自民党第1)】

- (議員)来年度に市長選挙を控え、学校給食無償化の継続に不安の声も聞く。学校給食無償化を現時点での制度設計や財源措置の考え方を踏まえ、今後も恒久的に維持するのか。
- (学校教育部長)市長が「子どもの成長を社会全体で支える」目的の学校給食無償化。国の動きには、全国市長会の緊急意見のほか、千葉県内普通交付税不交付団体7市長連名で緊急要請。いち早く進めた市長も国が責任を持つ仕事とメッセージを発信。学校給食無償化は継続。

○ 学校運営協議会の中学校ブロック制への移行【丸金ゆきこ議員(地域政党チームいちかわ)】

- (議員)既にある中学校ブロック合同学校運営協議会は内容が薄い。学校運営協議会委員の意見を伺いながら進めるべき中学校ブロック制への完全移行は、どの時期を見込んでいるのか。
- (教育長)令和7年度に中学校ブロックで一つの学校運営協議会で進めることを周知。7～8年度前半に学校運営協議会委員から意見聴取。8年度後半からモデル実施し、9年度中には全中学校ブロックでの実施を目指す。

○ 公民館の将来像の検討【宮本均議員(公明党)】

- (議員)公民館の将来像を考えた場合、公民館だからこそできる仕事は何があるのか。公民館の存在意義を高める工夫が必要ではないか。
- (教育振興部長)地域で社会教育活動を実践する方々と公民館が相互に連携を図られれば、地域コミュニティの活性化にもつながると期待。今後は、より公民館の存在価値を高めるためにも、市民の社会教育活動とどのように関わっていくかも、公民館の将来像と併せ検討。

○ 学校図書館の開館状況とその影響【石崎ひでゆき議員(市民クラブ)】

- (議員)学校図書館の現状の限られた開館日数や時間では児童生徒の読書習慣の定着や学習に対し、具体的にどのようなマイナスの影響を及ぼしていると捉えているのか。
- (学校教育部長)児童生徒の委員会活動と合わせて毎日開館している学校や、学校司書が勤務する概ね週3日から5日に開館している学校がある。昼休みや放課後に開館しない日がある学校は読書への関心や意欲の低下に影響すると認識。市内全校で毎日開館できるよう促す。